

第 19 回東備西播定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事概要

日時：令和 7 年 11 月 20 日 14:00～16:00

場所：備前市役所本庁 3 階大会議室

出席者及び構成員等：委員 10 名（内アドバイザー 1 名）

オブザーバー 3 名（岡山県及び兵庫県）

事務局（備前市 4 名、赤穂市 3 名、上郡町 2 名）、説明員 8 名

【議事概要】

- 1 開会
- 2 座長の選任
- 3 座長あいさつ
- 4 報告

（東備西播定住自立圏共生ビジョン（令和 2～6 年度）の事業実績について）

＜委員からの意見＞

◆圏域人口

- 人口減の要因として、自然減及び社会増減などの内訳が知りたい。
 - ⇒各市町における人口増減（令和 5 年→6 年度）は以下のとおり。
 - 備前市：総計 -566 人（自然増減 -485 人、社会増減 -80 人）
 - 赤穂市：総計 -690 人（自然増減 -449 人、社会増減 -241 人）
 - 上郡町：（現在データを持ち合わせていないので、確認のうえ回答する。）
 - ⇒総計 -340 人（自然増減 -215 人、社会増減 -125 人）（確認結果）

◆教育

- 圏域中学生体験プログラム事業の参加校が定着しているように見えるが、参加状況の実態や不参加理由は。
 - ⇒目標値の 11 校は圏域の全中学校数に相当。赤穂市・上郡町は安定参加、備前市は年度により変動。目標達成に向け要因を精査。なお本年度は万博参加に伴う辞退があった。
- 図書館の相互利用について、年代別の利用者は把握しているか。
 - ⇒（確認のうえ回答する。）
 - ⇒把握していない。（確認結果）

◆観光

- 観光施設入込数の目標達成率が約 60%で推移。コロナ影響や万博出展の効果をどう分析するか。
 - ⇒コロナの影響は確実にあり、現状も回復は伸び悩み。3 市町共同のパンフレット（ドライブマップ）を作成し、万博でも配布するなど啓発は実施した。

(東備西播定住自立圏における各部会の取組事業報告)

<委員からの意見>

◆教育施設部会

- 備前市の新図書館オープンに合わせ、既存 KPI を検証し、今後の目標を再設定して進めてほしい。
- 図書館利用者について年代別分析を行い、利用率向上策につなげてほしい。
- トップアスリート招へいの達成率が低い。改善に取り組んでほしい。

◆観光部会

- 日本遺産の活用が集客の基盤。交流人口拡大と地域・経済の活性化のため、日本遺産のブランディング・PR を強化してほしい。

◆農林商工部会

- 有害鳥獣駆除の有効活用（ジビエ等）は可能か。
⇒狩猟期間（11/15～3/15）は脂が乗り活用例もあるが、暑期の駆除は活用が難しく廃棄が多い。
- 企業誘致による雇用への影響は。
⇒物流系企業が播磨科学公園都市に立地。雇用規模は特段大きくないと聞いている。
- KPI 設定の根拠（有害鳥獣駆除頭数）及び上郡町が少なく見える要因は。
⇒例年 2,500 頭超の実績から 2,600 頭を最低ラインとして設定。上郡町も例年よりは増加。生息数は年々増加し、個体管理の効果は十分に表れていないのが現状。
- 正規公務員ハンターの例もある。専門家と連携し、頭数コントロールの仕組みづくりを検討してほしい。

◆交通部会

- JR の減便が進む中、増便要請は行っているか。
⇒JR 利用促進協議会を設置し、毎年要望を実施。18 日には岡山支社へ 3 市町首長が要望、来月は兵庫支社にも要望予定。実現に向け粘り強く働きかける。
- デマンド交通に関し、停留所までの移動手段が課題。コミュニティバスの細分化としてのデマンドバスは、丹波篠山市の事例がある。

◆通信広報部会(前通信情報部会)

- SNS に限らず、全国に 3 市町の魅力を発信できるツールを検討してはどうか。
⇒前回の提案を受け、インスタグラムで発信を開始。視覚的・感情的に訴求でき、海外ユーザーにも届く利点を活用。今後、効果検証のうえ継続予定。
- ともりんくの利用は、入口（導線）の PR が重要。

◆職員部会

- KPI 達成率が約 5 割。職員参加の確保は難しいのか。
⇒窓口業務や開催月の議会对応等で難しい場合がある。内容を充実し参加促進を図る。
- 職員不足が課題。共生ビジョンでも職員の資質向上は共通課題。

◆交流定住部会

- 観光誘客も重要だが、まずは 3 市町間の市民交流が市民レベルで実施される機会の検討をお願いしたい。

◆医療部会

- 医療研究会は民間病院従事者も参加可能か。
⇒医師会を通じ民間病院にも案内。昨年度は上郡町から民間医師が参加。

5 意見交換

<委員からの意見及び提案>

- 関西福祉大学で子どもと学生の触れ合い活動を実施しており、数年前からは、福祉大学の学生に加え、地域の高校生及び中学生も参加し、年代を超えた関わりにより、かなり充実したものになっている。
- 観光・情報発信は、賛否はあるがインパクトのある一体的な打ち出し（例：福崎町の妖怪）も検討をお願いしたい。
- 企業誘致に向けたアンケート調査を実施した（事業報告書 P.13）とのことだが、集計結果等を商工会議所に情報提供してほしい。企業誘致で行政と経済団体（商工会議所）の情報連携を強化し、民間側の情報も活用して機動的に対応すべき。
⇒（確認して回答する。）
⇒提供することは可能。（確認結果）
- 商工会議所の取組みとして、備前緑陽高校・和気閑谷高校の 1～2 年生向け企業見学バスツアーを実施（ハローワーク同行、約 20 名×3 回、9 社見学）し、地元就職の選択肢拡大に寄与している。関係機関・企業から好評をいただいている。今後、3 市町の商工会議所及び観光協会が協力してこの事業に取り組めたらと考えている。
- 情報発信は、SNS は積極的な取得層に偏りやすい。高齢者にはラジオも有効。図書館の相互利用は利用者が多く、情報収集・学びの場の拡充として今後も推進を。